

# 今週の文法練習問題

きのただいすけ

国立中央大学天文研究所

2022 年 11 月 02 日

# 問題 1

- 「出す」を使った文を作りなさい。
- 「出る」を使った文を作りなさい。
- 意味の違いを説明しなさい。
  - ① 出す
  - ② 出る

## 問題 2

- 意味の違いを説明しなさい。
  - ① ドロドロ
  - ② サラサラ

## 問題 3

- 意味を説明しなさい。
  - 「目を見張る」

## 問題 4

- 「…しばしば…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「日本でも、伊豆大島火山や三宅島火山でしばしば見られる。」

## 問題 5

- 「…たびたび…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「19 世紀から爆発的な噴火がたびたび記録されているが、2015 年 4 月にははげしい爆発をともなう『プリニー式噴火』がおきた。」

## 問題 6

- 「...やや...」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「マグマがハワイ式噴火よりも低温で、粘り気もやや強い場合の噴火のタイプ。」

# 問題 7

- 「…ぶり…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「2021年3月、アイスランド南西部にあるファグラダルスフィヤル火山が6000年ぶりに噴火した。」



## 問題 8

- 「…ため…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「マグマの粘り気が弱いため、長さ600～700メートルの割れ目から溶岩が噴水のように勢いよく噴きだし、その高さは300メートルにおよんだ。」

## 問題 9

- 「…おき…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「10 秒おきくらいにポンポンと、噴出する溶岩が美しい放物線をえがきながら、火口周辺に着地するのが特徴だ。」

## 問題 10

- 「…によって…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「粘り気の強さは、主にそのマグマに含まれる二酸化ケイ素の量によって決まり、シリカが多いほど強い。」

# 問題 11

- 「…ほど…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「噴火のとき、マグマの粘り気が強くドロドロだと、火山ガスの気泡はマグマからなかなか抜けだせず、マグマとともに、爆発的に火口から吹き出すことになる。」

## 問題 12

- 「…まま…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「大きいかたまりのまま放出されたマグマは穴だらけの『軽石』や飛びながら冷えて変形した『火山弾』となる。」

## 問題 13

- 「…だから…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「大きいかたまりのまま放出されたマグマは穴だらけの『軽石』や飛びながら冷えて変形した『火山弾』となる。」

## 問題 14

- 「…ながら…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「大きいかたまりのまま放出されたマグマは穴だらけの『軽石』や飛びながら冷えて変形した『火山弾』となる。」

## 問題 15

- 「…ときには…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「噴煙は上空の風に乗って流され、ときには数百キロメートル以上も遠くまで飛んでいくこともある。」



# 問題 16

- 動詞「近づく」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます / \_\_\_\_\_ た
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

# 問題 17

- 動詞「含む」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます / \_\_\_\_\_ だ
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_